

新春トップインタビュー

日清製粉グループ本社 瀧原賢二社長



調で前年からの大きな変化はなかったものの、業界全体としては、製品ミックスについて注視が必要であり、コストダウンと同時に、高付加価値製品の積極的な拡販の取り組み

2025年は物価高騰が続いたが、インバウンドにより外食や土産菓子については需要拡大を実感する一年だった。一方で、日本の消費者の食品に対する強い低価格志向は依然として継続しており、

最先端の技術を集約した水島工場が稼働し、成長ドライバーと位置付ける海外事業、中食・惣菜事業の規模が着実に拡大してきた日清製粉グループ。冷蔵解凍惣菜など新市場の開拓や加工食品等コア事業の海外投資にもチャレンジする日清製粉グループ本社の瀧原賢二社長に同グループのこれまでとこれからを聞いた。(聞き手 川田岳郎)

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

比率(生産能力ベース)は、日清製粉単体で83%から92%になった。国内で消費される小麦の8割以上を海外から輸入していること等を踏まえ、日清製粉では臨海工場比率を高めてきた。水島工場の稼働により、これまで目指してきた体制はひとまず整ったものと考えている。近年では国内産小麦の需要も高まっていることから、臨海工場、内陸工場それぞれの利点を活用していきたい。

成長ドライバーが業績を牽引する存在に

2025年の食品業界はコスト上昇への対応がテーマの一年だったと思う。価格転嫁が後追いとなる場面もあり、一部事業で業績回復に遅れが生じたものの、それぞれ価格改定に取り組み、確実に前進している。2025年度上期は海外製粉、加工食品、メッシュクロス事業で苦戦し減

2025年の食品業界はコスト上昇への対応がテーマの一年だったと思う。価格転嫁が後追いとなる場面もあり、一部事業で業績回復に遅れが生じたものの、それぞれ価格改定に取り組み、確実に前進している。2025年度上期は海外製粉、加工食品、メッシュクロス事業で苦戦し減

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

成長ドライバーが業績を牽引する存在に

2025年の食品業界はコスト上昇への対応がテーマの一年だったと思う。価格転嫁が後追いとなる場面もあり、一部事業で業績回復に遅れが生じたものの、それぞれ価格改定に取り組み、確実に前進している。2025年度上期は海外製粉、加工食品、メッシュクロス事業で苦戦し減

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

成長ドライバーが業績を牽引する存在に

2025年の食品業界はコスト上昇への対応がテーマの一年だったと思う。価格転嫁が後追いとなる場面もあり、一部事業で業績回復に遅れが生じたものの、それぞれ価格改定に取り組み、確実に前進している。2025年度上期は海外製粉、加工食品、メッシュクロス事業で苦戦し減

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい

2025年に重点的に取り組んだ事業と目標の達成具合をうかがいたい